



2022年3月4日

各位

会社名 株式会社 稲葉製作所  
 代表者名 代表取締役社長 稲葉 裕次郎  
 (コード: 3421 東証第一部)  
 問合せ先 取締役経理部長 武田 浩  
 (電話: 03-3759-5181)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年9月13日に公表しました2022年7月期の連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年7月期第2四半期(累計)の連結業績予想数値の修正(2021年8月1日~2022年1月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 連結四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,920	720	855	560	34.01
今回修正予想(B)	17,864	342	534	322	19.55
増減額(B-A)	△56	△378	△321	△238	
増減率(%)	△0.3	△52.5	△37.5	△42.5	
(参考)前期連結実績	18,131	1,313	1,452	958	57.13

#### 2. 2022年7月期通期(累計)の連結業績予想数値の修正(2021年8月1日~2022年7月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,680	2,080	2,370	1,670	101.43
今回修正予想(B)	37,500	1,120	1,510	1,020	61.90
増減額(B-A)	△180	△960	△860	△650	
増減率(%)	△0.5	△46.2	△36.3	△38.9	
(参考)前期連結実績	37,799	2,764	3,067	2,365	142.26

### 3. 業績予想修正の理由

2022年7月期第2四半期累計期間の売上高については、オフィス家具の販売が苦戦したことから、前回発表予想をやや下回る見通しであります。利益面については、前回発表予想に比べ、価格高騰による材料費の増加要因で270百万円程度、物流コストの増加要因で70百万円程度、新旧製品の並行生産等に伴う労務費の増加要因で55百万円程度、それぞれ利益を押し下げることから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前回発表予想を下回る見通しであります。

通期については、売上高は今後需要期を迎えるものの、前回発表予想をやや下回る見込みであります。利益面については、生産性向上・コスト削減に努めるものの、更なる価格高騰による材料費の増加要因により、下半期の当初想定利益を490百万円程度押し下げることから、前回発表予想まで回復するには至らない見込みであります。

このような状況を踏まえ、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、前回発表予想を下回る見込みとなるため修正いたします。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上